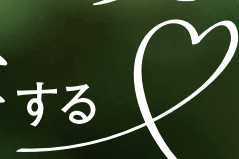


日本大学 文理学部



心理学科

P S Y C H O L O G Y

人の^をこころを
科学する 
パイオニア

平成30年度より

心理学の国家資格「公認心理師」を
取得する公認心理師コース開設

人のこころを 科学する パイオニア



心理学は、人間の心に科学的なアプローチをする学問です。
日本有数の歴史と規模を誇る日本大学文理学部心理学科では、
認知心理学・社会心理学・生理心理学・臨床心理学・老年心理学・環境心理学など、
心理学の主な領域を幅広く学べるのが特長です。
基礎から応用へ段階的に学べるカリキュラムの整備や充実した実験設備など、
心理学を広くかつ深く学ぶための教育環境のなかで、
将来、心理学の学びを社会へ貢献できる人材を育成します。



Index

アドミッション・ポリシー、沿革	1
5つの特長	2
4年間の流れ	4
授業紹介	6
ゼミナール紹介	8
就職実績、大学院紹介	10
教員紹介、インフォメーション	12

◎ 教育研究上の目的

基礎と応用の両領域で、バランスのとれた心理学の知識を身に付け、社会貢献ができる人材育成を目標にしている。また、公認心理師コースにおいては、医療・福祉・教育・司法・産業等の領域で心理学的な専門的支援を担う公認心理師として活躍できる人材を養成することを目標にしている。そのために、「人間のこころ」を科学的に理解する心理学的知識や方法を習得し、実社会に応用できる力を身につけ、自身で能動的に考え、行動する能力を育成する。そして、「社会の中で役に立つ心理学」を実践する人材を養成する。

◎ 教育理念・目標

心理学の基礎領域の学習を重視するとともに、公認心理師の国家資格取得を目指す公認心理師コースにおいては卒業後、国家試験に合格した後に専門家として活躍するための知識や技術の習得を目指す。心理学における基礎的な知識や学問の方法、思考方法を習得した上で、応用領域も系統的に学習できるよう構造的に教育を行う。また、自主的に研究が行える人材を育成するために必要な教育環境を提供する。これら教育理念達成のために、講義形式の授業のほかに、少人数クラスで体験的に学習するための演習、実験実習形式の授業を実施する。1年次および2年次には心理学の基礎や方法論および心理学全般にわたる知識を学ぶ。3年次以降は自らの興味関心ある分野を定め、特定領域の心理学を専門的に学ぶ。3年次より各教員のゼミに所属して一層専門性を高めるとともに、自ら研究テーマを設定し実証的な心理学研究を行うことを目標とする。

◎ アドミッション・ポリシー

心理学科においては、日本大学及び文理学部の方針を受け、さらに心理学科で 勉学を受けるにふさわしい学生を受け入れるために多様な選抜方法を実施しているが、その前提として入学者には次のことを求める。

1. 幅広く豊かな知識と教養を身につける知的好奇心がある。
2. 現代社会が直面している多様な問題に関心がある。
3. 得られる情報を客観的に理解し、論理的に考えることができる。
4. 問題を注意深く観察し、解決しようとする意欲がある。
5. あきらめない気持ちで、課題に果敢に挑戦することができる。
6. 他者と議論できるコミュニケーション能力がある。
7. 集団のなかで他者と協力することができる。
8. 謙虚に自己を振り返り、自己の資質を高めようとする意欲がある。

沿革

1924(大正13)	日本大学「法文学部・文理学部・心理学専攻」として出発
1927(昭和02)	心理学研究室を神田三崎町に開設
1949(昭和24)	新制大学の発足にともない「文学部・心理学科」に発展
1951(昭和26)	「大学院・文学研究科・心理学専攻・修士課程」を設置
1953(昭和28)	「大学院・文学研究科・心理学専攻・博士課程」を設置
1958(昭和33)	文理学部の発足にともない「文理学部・心理学科」と改称 研究室を世田谷区桜上水の新校舎に移転
1967(昭和42)	本館5階に新研究室完成
1974(昭和49)	心理学科創設50周年を迎える
2014(平成26)	心理学科創設90周年を迎える
2017(平成29)	キャンパス内に新築された新本館に移転
2018(平成30)	公認心理師コース開設
2024(令和6)	心理学科創設100周年を迎える

日本大学文理学部心理学科の創設者・渡辺徹先生は明治16年福島県に生まれ、同43年に東京帝国大学文学部哲学科を卒業、大正3年から日大で講義を始められた。大正9年に日本大学教授となり、同13年に私学では最初(東大・京大・東北大に次いで日本では4番目)の心理学専攻課程を日大に創設された。これが今日の心理学科の前身である。昭和32年の死去に際し日本大学から名誉学位が贈られ、記念事業として「渡辺学術賞」が制定された。蔵書は「渡辺文庫」として研究室に保存されている。



創始者
渡辺 徹先生

日本大学
心理学会



各界で活躍する卒業生と在校生が交流する「日本大学心理学会」

「日本大学心理学会」は、日本大学心理学科に在籍する学部生・大学院生、教員、卒業生で構成され、会員が研究活動や交流を行う場です。多彩な分野で活躍する卒業生をはじめとする会員が研究成果を報告する学術大会(年1回)、意見交換を行うワークショップ(年1回)、研究成果を掲載する学術雑誌『日本大学心理学研究』の発行など、活発な活動が行われています。

5 文理学部心理学科 つの特長

日本の心理学を牽引する日本大学文理学部心理学科。
90年以上に及ぶ長い歴史の中で築いてきた特長はさまざまです。
歴史や環境、指導する教員などを「5つの特長」としてご紹介します。

(私学で最古の歴史ある 心理学科)

1

1924

心理学科が日本大学に誕生したのは1924年4月のことです。当時、心理学専攻、あるいは心理学科というユニークな課程を置く大学は、東京大学、京都大学、東北大学の3校のみでした。日本で最初の心理学教授として東大の教壇に立った元良勇次郎の門弟である渡辺徹(1883～1957)が、1914年4月から日本大学で心理学を講義したことに端を発し、日本大学法文学部に文学科心理学専攻という新しい課程が開設され、現在の心理学科のプロトタイプとなったのです。日本大学の心理学科は日本で4番目の開設、私学では最も古い歴史を誇り、各界に多くの卒業生を送り出してきました。

2

(基礎から応用まで心理学の 全領域をカバーする学び)



心理学の領域は基礎から応用まで多彩ですが、多くの大学では特定の分野に偏りがちです。日本大学文理学部心理学科には認知心理学・社会心理学・生理心理学・臨床心理学・老年心理学・環境心理学など、心理学のほぼ全ての領域の最新の知見を学ぶことができる充実した教育環境があります。

（心理学の最先端を担う 質の高い教員）

3

心理学の全領域をカバーする日本大学文理学部心理学科では、各領域の第一人者を指導陣に揃えました。認知心理学・社会心理学・生理心理学・健康心理学・教育心理学・臨床心理学・老年心理学・環境心理学などの著名な教員が指導をしています。3、4年次のゼミナールは、高度な学びのなかにも和やかな雰囲気を漂わせています。また、大学院生が実験や実習の授業で補助業務を行う「ティーチング・アシスタント(TA)制度」や、学部上級生が授業の補助業務を行う「スチューデント・アシスタント(SA)制度」を導入し、学生一人ひとりへのきめ細かな学習支援を行っています。



『心理学概説—心理学のエッセンスを学ぶ』

■ 厳島 行雄(編集)、
横田 正夫(編集)
富山房インターナショナル



『抑うつと自殺の心理学
臨床社会心理学的アプローチ』

■ 坂本 真士(著)
金剛出版



『ポテンシャル
心理学実験』

■ 厳島 行雄(編集)、
依田 麻子(編集)、
望月 正哉(編集)
サイエンス社

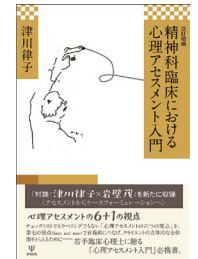


『環境心理学—人間と環境の調和のために
に(ライブラリ 実践のための心理学)』

■ 羽生 和紀(著)
サイエンス社

『改訂増補 精神科臨床における心理アセスメント入門』

■ 津川 律子(著)
金剛出版



4 （心理学の新しい国家資格 「公認心理師」取得を目指すコースを開設）

公認心理師は、国民の心の健康の保持増進に寄与する専門的職務を担うための心理学関連ではじめての国家資格です。当学科では、卒業に必要な単位に公認心理師の受験資格に必要な科目を含んでおり、さらに公認心理師コース科目を履修することで国が定めた必要科目の全てを修得することができるカリキュラムになっています。公認心理師として生涯の基盤となる科学的心理学の知識や技術を十分に学んだ上で、心理学的なアセスメントや支援法、コミュニケーション法等の実践力を身につけることができます。



（高度な教育と研究を 実践する大学院）

5

学部を卒業した学生に、さらに高度な教育を行い、心理学の専門家を養成する機関として日本大学大学院文学研究科心理学専攻を設置しています。博士前期課程2年間(修士課程)と博士後期課程3年(博士課程)に分かれ、前期課程には実践家を目指す臨床心理学コース(日本臨床心理士資格認定協会第1種指定校)と、研究力を身につける心理科学コースがあります。幅広い開講科目を揃え、教員とともに心理学の第一線で研究活動を行っています。

4 年間の流れ

文理学部心理学科

幅広い基礎力の養成と 演習・実習の重視

1年次では心理学の基礎を学び、2年次では心理学の全般的な知識や研究の方法を幅広く学び、専門的学習に必要な基礎的能力を養成します。1年次から講義科目だけでなく少人数制の演習や実験実習科目を多く開講しています。

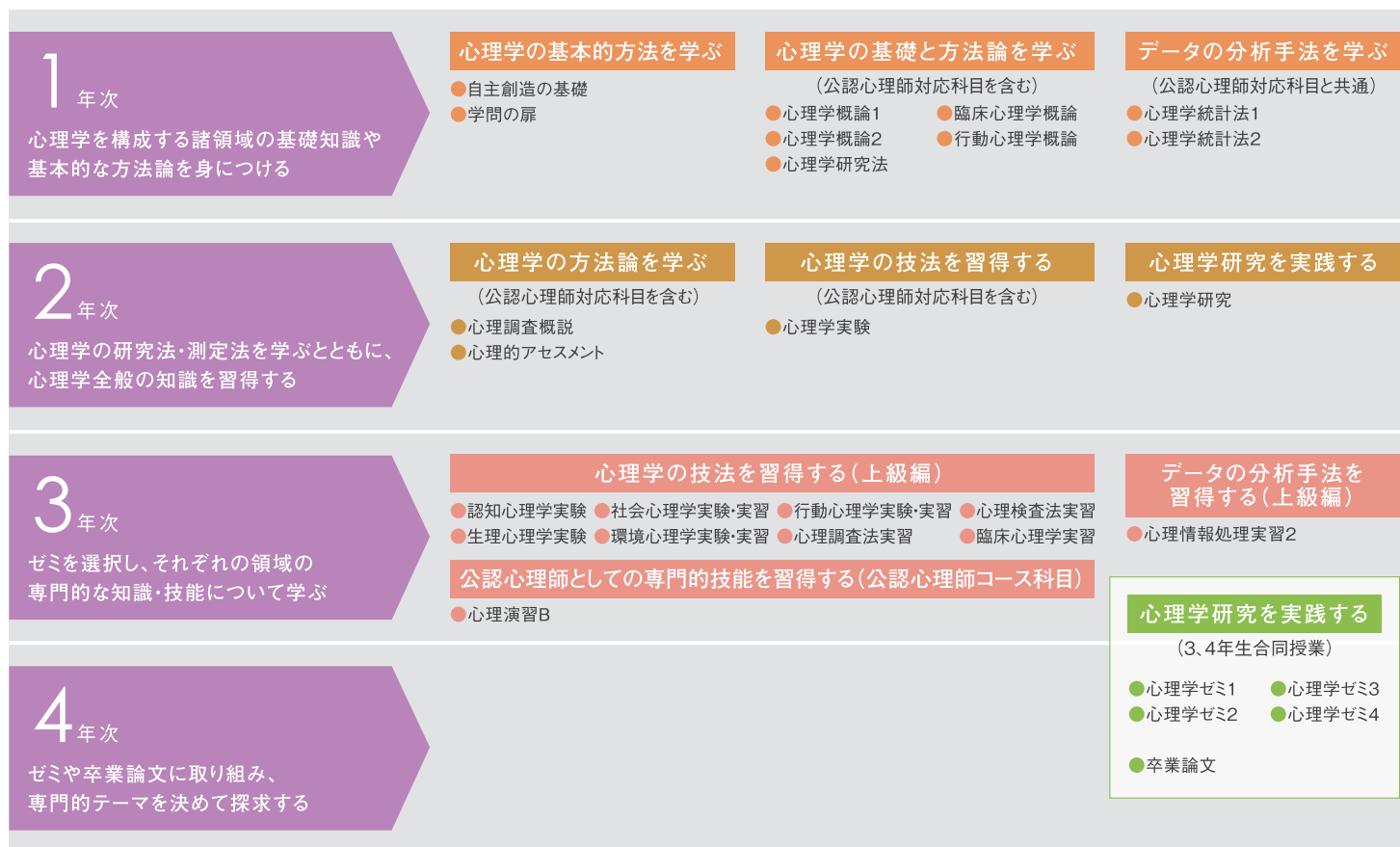
4年間の学びの総仕上げを めざして学びをさらに深める

3・4年次には各教員のゼミに所属して、専門分野に関する文献講読や研究発表などを行ないます。心理学の学びの総仕上げとして、心理学の知識や方法を使って考え抜き、発信する能力を磨きます。

Curriculum カリキュラム (2025年度)

2018年度より、心理学の新しい国家資格「公認心理師」に対応したカリキュラムがスタート。
こころの科学的理解とともに、心理的支援の実践的な力を養成します。

心理学は、心の働きを科学的に解明する学問分野です。心理学科では、幅広い心理学の分野に対応し、段階的に実践的に学べるカリキュラムを用意しています。公認心理師に必要な多くの科目は、卒業を目指しながら修得でき、さらに公認心理師コースを履修することで、公認心理師の受験資格に必要な大学での卒業条件を満たすことができます。



Students' Message



文理学部 心理学科
加藤 秀陸さん

“ 公認心理師と臨床心理士の資格取得を目指しながら、
全国から集まった仲間と「役立つ知識」を学んでいます ”

もともと人を援助することに興味があり、また「こころ」という曖昧なものを取り扱うところに興味を魅かれ、心理学を学びたいと思うようになりました。私立大学の中で最も歴史のある学科ということを知り、広い知識が得られるのではないかと、日本大学心理学科を選びました。学んだことが実生活で役立つ、それが心理学の魅力だと思います。授業で「アサーション」というコミュニケーション理論を学び、自分自身をより客観的に見つめられるようになったことは、強く印象に残っています。また、日本大学心理学科は全国から学生が集まってきていて、留学生もいます。いろいろな文化を背景にしたたくさんの人と知り合えるというのも、日本大学心理学科の魅力です。将来はスクールカウンセラーになりたいと思っています。今は公認心理師と臨床心理士、2つの資格取得を目指しています。1対1のアプローチはもちろん、授業形式のような多くの生徒を対象とした心理教育にも興味を持っています。心理学が自己理解や日常生活に役立つことを実感しているので、中高生にも心理学に興味を持ってもらえるような取り組みができれば、と考えています。



取得可能な資格

■公認心理師

国民の心の健康の保持増進に寄与するためにできた心理学関連のはじめての国家資格です。所定の科目を修得し、卒業後2～3年の実務経験を経るか、大学院で所定の科目を修得し課程を修了することによって資格試験の受験が可能となります。

■認定心理士

公益社団法人日本心理学会による資格取得に対応するカリキュラムが整備されています。

■認定心理士(心理調査)

公益社団法人日本心理学会が認定する新しい専門的資格です。資格取得に対応した心理学的な調査を行うための専門的知識と技能に関するカリキュラムが整備されています。

■臨床心理士(大学院博士前期課程臨床心理学コース修了によって受験資格取得)

本学大学院心理学専攻臨床心理学コースは公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による第1種指定校です。大学院修了後、資格試験の受験が可能です。

データの分析手法を習得する

- 心理情報処理実習1

心理学全般の知識を学ぶ

(公認心理師対応科目と共通)

- 神経・生理心理学
- 司法・犯罪心理学
- 学習・言語心理学
- 教育・学校心理学
- 知覚・認知心理学
- 産業・組織心理学
- 発達心理学
- 精神疾患とその治療
- 社会・集団・家族心理学A (社会心理学)
- 社会・集団・家族心理学B (家族心理学)
- 感情・人格心理学A (パーソナリティ心理学)
- 感情・人格心理学B (感情心理学)

心理学の専門的知識を学ぶ

- 臨床心理学特講
- 認知心理学特講
- 健康心理学特講
- カウンセリング特講
- 社会心理学特講
- 臨床社会心理学特講
- 心理面接特講
- 生理心理学特講
- 老年心理学特講
- 心理検査法特講
- 環境心理学特講

公認心理師コース科目

- 公認心理師の職責
- 人体の構造と機能及び疾病
- 障害者・障害児心理学
- 心理演習A
- 関係行政論A
- 心理学的支援法A
- 健康・医療心理学
- 福祉心理学
- 心理演習B
- 関係行政論B
- 心理学的支援法B
- 心理実習(外部実習)

“ 同じ目標をもつ仲間と一緒に頑張っている、
新たな自分の興味を発見できる、そんな日本大学心理学科です!”

私は「言語」と「対人支援」に興味があり、どちらも学ぶことができる日本大学心理学科に進学しました。日本大学心理学科はいろいろな専門をもつ先生方がそろっていて、心理学の幅広い分野を深く学ぶことができるのが魅力だと思います。また、私は公認心理師を目指していますが、日本大学心理学科には公認心理師コースというものがあり、そのコースの授業を通して同じ目標をもって励まし合える仲間に出会えました。仲間とともに、幅広い領域を専門とする先生たちから学んでたくさんの“発見”ができる、日本大学心理学科はそういう場所だと思います。大学構内の私のお気に入りの場所は、日本大学文理学部図書館です。蔵書の数もすごいし、「こんなに古い本もある!」と驚きました。図書館内は自主学習できるスペースも充実しています。将来は、公認心理師取得を目指すだけではなく、実践の心理療法に結びつけられるような研究活動にも力を入れて取り組みたいと考えていて、大学院進学を希望しています。



文理学部 心理学科
飯田 はるかさん

授業紹介



学びのキーワード

【世界認識のメカニズム】



解説

同じものを見ている、捉え方が違うことが結構あります



人間が適切に生存するためには、外界の対象や出来事を正確に知り、その知った情報を適切に利用することが求められます。そのようなプロセスがどのように行われているのかを説明します。

知覚・認知心理学

外界からの情報は感覚器官を通して生活体に取り込まれ、それが知覚されて世界が理解されます。ただ、この知覚という外界理解の過程には私たちの経験(学習や文化)や期待、感情などが影響し、個人に固有の世界を作り上げます。この授業では感覚から知覚への過程、またその知覚された情報がどのように利用されるのかに関して、記憶を中心に講義を展開します。記憶に関しては、ワーキングメモリーのように知覚と記憶が出会うメカニズム、長期記憶の構造、無意識的記憶、さらに感情が記

憶とどのような関係にあるのかなどのテーマで、人間の認識のメカニズムに迫ります。

私たちの外界の認識のメカニズムを解明することは、まさに、私たち人間が世界をどのように理解するのかという、心の働きの根本に関わる仕事なのです。過去そして現在の認知心理学者がこのテーマにどのように向き合ってきたのか、どのような仕事をしてきたのかを上述の内容に基づいて、解説します。

関連科目

環境心理学特講

環境心理学は現実の環境と人間の関係を研究する学問です。現実の環境とは、家、街、都市、商店、カフェ、教室、病院、公園、テーマパークなど、皆さんが行動するすべての場所を指しています。こうした環境に対して、人が何を感じ、何を考え、どんな行動をするか、そしてどのように環境を造る・デザインするかなどを学びます。

司法・犯罪心理学

犯罪心理学は犯罪者と犯罪行動の心理を科学的に研究する学問です。犯罪者が犯罪を行う心理的・社会的原因に関する理論から、犯罪捜査・プロファイリングや取り調べにおける心理的要素の検討、殺人や性犯罪のような罪種ごとの犯罪者心理、犯罪被害者の心理まで、現在の最先端の犯罪心理学を幅広く、専門的に学んでください。





学びのキーワード

心理テスト



解説

ご存知でしたか？
雑誌などの
「心理テスト」、
本当は心理テスト
ではないんです



本物の心理テスト(心理検査)は、テレビや雑誌に載せてはいけなものがほとんど。その開発には、統計解析、テスト理論などの専門的な知識と技術が必要です。

心理的アセスメント

心理学では、直接には見ることでできない“ところ”を、どのように見える形で表すかが考えられてきました。その工夫の一つが、心理検査です。心理検査は、ところのありかたについての個人差を、あらかじめ定めた基準に従って測定しようとしています。個人差を測定するために、多くの人に実施して、結果を集めて検討し、基準の確認を行っています。授業では、心理検査の理論的背景を学び、さらに自身で心理検査を受け、受けるヒトの気持ちや自分の特徴について理解も深めます。

業で学ぶ心理検査は、不安、性格、知的能力などです。心理検査を受けて、自分自身で採点し、簡単な報告書を書く、という作業を通して、心理検査に親しむとともに、人のところの見方のコツをつかみます。またこの授業は、検査者に高度な技能が必要とされる心理検査を身につけるための、準備でもあります。心理検査とは何か、どのような意味があるのかを知り、使いこなせるようになってください。

関連科目

心理検査法実習

この授業では、心理検査を模擬的に実施、分析します。実習を通して、検査の実施方法だけでなく、検査者に必要な、受検者に対する配慮や面接技術を学びます。また、心理統計学などの基礎心理学が、心理的アセスメントや支援に不可欠であることがわかり、人を理解することの難しさと面白さを実感できる授業です。

心理学統計法1・2

心理学では、人間の心の現実を解明するために、人間を対象にして実験、調査、観察、検査、面接など、さまざまな種類の実証的研究を実施します。心理統計法1・2では、これらの研究で収集されたデータを集計し、解析することによって、人間の心について客観的で公平な結論を下すための技術を学ぶことができます。



ゼミナール紹介

ゼミテーマ例

- 社会的ステレオタイプ、偏見、差別に関する研究
- SNSでのコミュニケーションの特徴に関する研究
- 臨床心理学的な支援(ブリーフセラピーなど)を考える
- カウンセラー役とクライアント役に分かれて、カウンセリングの体験学習を行う
- 代表的な心理検査を検査者として施行できるようになる
- 課題成績に与えるニオイの効果
- 脳波を用いた、広告における興味の推定
- 他の人の視点に立って考えられることについての心理学研究
- 新しいタイプの抑うつ(いわゆる「新型うつ」)はどのようにして生じたか
- 関係性を土台とした臨床心理検査のコア部分



- 認知的バイアスによる判断の誤りや偏り
- 自伝的記憶の想起と情動や自己評価の関係
- オフィスにおける植物の存在の影響
- 室内イメージに与える照明の種類の影響
- 森田療法の考え方を活用した不安・緊張への対処スキルの獲得
- メッセージからの感情認知にはどのような個人差特性が影響するのか
- 子どもへの心理療法を学び、非言語的交流について考える
- 眼鏡の形態から受ける印象の評価
- 対人ストレス場面における生理反応
- 睡眠習慣と日常ストレス



坂本ゼミ

答えのない社会の問題に目を向け考えていく



Point

坂本ゼミで研究している、うつや不安、自殺は臨床心理学でも扱われる問題ですが、社会心理学の面から対人的社会的な問題ととらえ、なぜ発生してきたのかを研究しています。答えのない問題であり、指導教員、大学院生、ゼミ生の知恵を絞り全員で考えていきます。

毎年一つのテーマを取り上げ、最初の3か月間は知の技法の基礎としてディベートや文章の書き方を学びます。その後に二つのグループに分けて、各10名程度でそれぞれの研究プロジェクトを掲げ、坂本教授や大学院生が指導して1月末までにまとめ上げ、2月に次年度から参加予定の2年生も出席する研究発表会を開催します。ここで発表された研究のうち、優秀なものは論文にまとめて発信しています。



Voice

心理学はとにかく
おもしろい学問です

心理学は人の心の実験や調査などを通して科学的にアプローチし、得たデータに基づいて直接手に取ることのできない心を明らかにしようします。真剣に追究するほどに社会や環境や認知など多領域への興味が花開き、コミュニケーション力や統計的処理力などあらゆるスキルが身につきます。



文理学部 心理学科
坂本 真士 教授

研究環境 紹介

- 1 実験器具例
(左上:ストループ効果カード
左下:ミューラー・リヤー錯視図
右:鏡映描写)
- 2 マジックミラーつきグループ面接室
- 3 防音シールドルーム、脳波計
- 4 自習室
- 5 眼球運動測定装置



平成29年に新校舎へ移転し、実験や面接のための部屋は29に増えました。これらの部屋にはここを測定するための実験装置や用具が取りそろえられています。

菊島ゼミ

カウンセリング力を高め、子どもたちを支援



Point

悩みを抱え、日常生活がうまくいかなくなってしまう子どもや若者を、どのように理解し、どのような手助けができるかについて研究と実践をしています。前期は子どもや若者へのカウンセリングの基礎として、子どもを対象にした心理療法についての事例論文から、効果的なカウンセリングの方法や、理解の仕方を考えます。後期はカウンセリングの実習として、4年生がカウンセラー役、3年生がクライアント(対象者)役となってロールプレイングを行い、全員で確認しながらクライアントへの効果的な話しかけ方などについて議論します。また希望者は、より実践的に学内外の子育て支援ボランティアとして活動することもできます。



Voice

理論学習から実践へ スムーズにつなげる学び

理論学習からロールプレイングやボランティアなど自分で体験する実践的な学びを、スムーズにつなげることに主眼を置いています。日本大学心理学科は領域に偏りがなく、子どもへの心理的アプローチに応用できるさまざまな領域を一つの環境の中で学べるのが魅力です。



文理学部 心理学科
菊島 勝也 教授

Message 卒業生からのメッセージ

人を理解する力から、 データを読み解く力まで

鈴木 俊作さん

▶ 株式会社NTTデータ ニューソン 勤務

金融やIT業界で統計分析やAI構築を行うデータサイエンティストとして働いています。もともとは研究職に憧れ、社会、認知心理学を学ぶために心理学科へ入学後、同大学院に進学しましたが、学びを深めるうちに次第にデータ分析そのものに強い関心を持つようになりました。心理学と聞くと「心の動き」を思い浮かべる人が多いと思いますが、実はデータを通して人を理解する学問でもあります。日本大学心理学科では心理統計の基礎を学び、人の心や行動の裏にある隠れた要因を探る訓練ができます。心理学科での経験は「人を理解する力」を育むと同時に、社会で求められるデータ分析力の土台にもなります。幅広く応用できる心理学は、自分らしい未来を描く大きな力になるはずです。



今でも大切にしている仲間たちと 出会えたことは私の財産

藤井 里佳さん

▶ パーソルダイバース株式会社 勤務

この会社では、コミュニケーションに苦手や課題がある若者向けの支援を実施しています。その中で、私は主にプログラムの運営、広報、企画などを実施する仕事をしています。大学生活の中で特に力を入れていたのは心理学ゼミの活動です。ゼミ発表会にむけ、チームメンバーで分担して研究内容を取りまとめたことを思い出します。この活動で、他者とのコミュニケーション・連携を取る姿勢なども社会人になる前のマナーとして準備できたのではないかと思います。そして、今でも大切にしている仲間と出会えたことは自分にとって財産だと思います。心理学ゼミの同期や先輩方、また心理学科で出会った友人とも、ありがたいことに卒業後の今でも仲良くさせてもらっています。



幅広い分野の心理学を 学べることが魅力

穴戸 みず穂さん

▶ 葛飾区役所 勤務

職員研修の企画・運営や感染症予防にかかる業務などに従事してきました。日本大学心理学科は様々な分野の心理学を学べることが魅力だと思います。漠然と「心理学って面白そう!」という理由で受験を決めました。実際に入学し1・2年次に心理学という学問を多角的に学ぶ中で、自分の将来就きたい仕事に活かせるような分野は何かを考え、3・4年次のゼミを選択・決定することができました。また、自分が選択したゼミの専門分野以外の知識も社会の中で役立つことが多く、様々な心理学の知見を学べたことは、私にとって有益だったと感じています。友人の就職先も様々で、多彩な分野で活躍する仲間に出会えたのも、幅広い分野の心理学を学べる日本大学心理学科に入れたからだと思っています。



とにかく授業での 話が面白い!

太田 直斗さん

▶ 愛知淑徳大学心理学部 勤務

大学で心理学、主に認知心理学の実験実習や統計に関する授業を担当しています。この仕事の魅力は、学生とわからないことを考えたり、研究について「ああでもないこうでもない」と考えを深めたりと、学生とともに自分自身も成長していける点だと思います。日本大学心理学科の魅力は、丁寧な指導と充実した授業だと思います。教科書をなぞるだけの色味のない講義ではなく、科学的な心理学でも実際の支援に関する話でも、先端的でリアリティのある話を聞くことができました。とにかく授業での話が面白い(興味深い)のが印象に残っています。また、特定の分野に偏ることなく色々な専門の先生がいたおかげで、様々な選択肢が開かれていた環境で過ごすことができたのはとても幸運だったと思います。



人の表現の背景を考える習慣が 身につきました

米村 八奈乃さん

▶ 世田谷区立教育総合センター 勤務

心理支援の専門職として、不登校の小中学生をサポートしています。家から出るのが難しい子どもには家庭訪問もしています。一緒に遊んだり、お話をしたりしながら、安心できる居場所を提供しつつ今やこれからのことを一緒に考えていきます。大学の学びのなかでとても印象に残っているのが、「子どもの遊びには意味がある」ということです。子どもの遊びはその子自身の表現なのだという視点は、とても新鮮でした。また、心理学を学んで「人の表現の背景を考える」習慣が身に着いたと思います。言葉や行動の奥にある「その人の置かれている状況や立場」に自然と目を向けるようになりました。それは心理支援職としてだけでなく、日常でも人との関わり方が変化したような気がします。



視野が広がり、多角的な視点で 考える力を育ててくれました

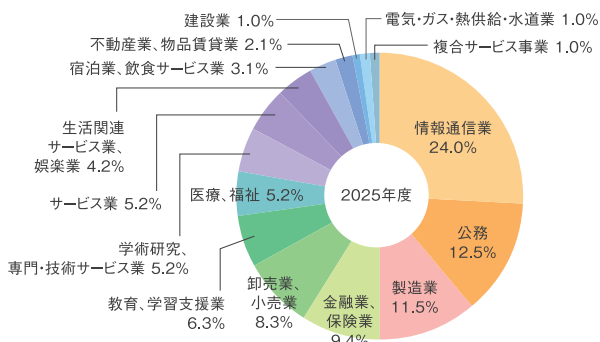
諏訪 百合子さん

▶ 日本大学医学部附属板橋病院精神神経科 勤務

病院の外来や病棟で、心理検査やカウンセリング、研究活動のサポートを行っています。大学では「仮説を立て、検証していく」という心理学の基礎を学べたことが印象深いです。実験実習科目や卒業論文で、研究計画を立て、実際に実施し、結果をまとめ考察をするという一連の流れを体験し、学んだことは、今の仕事にも役立っています。サークルでは障害を持つ子どもたちと関わるボランティア活動に携わり、貴重な経験を積むことができました。日本大学文理学部はたくさんの学科があり学生の数も非常に多く、様々な価値観、背景を持つ人たちと関わられます。このキャンパスで学んだことが、自分自身の視野を広げ、多角的な視点で物事を考える力を育ててくれたと感じています。



就職実績 2025年5月現在



情報通信業	23人
公務	12人
製造業	11人
金融業、保険業	9人
卸売業、小売業	8人
教育、学習支援業	6人
医療、福祉	5人
学術研究、専門・技術サービス業	5人
サービス業	5人
生活関連サービス業、娯楽業	4人
宿泊業、飲食サービス業	3人
不動産業、物品賃貸業	2人
建設業	1人
電気・ガス・熱供給・水道業	1人
複合サービス事業	1人

[主な就職先]

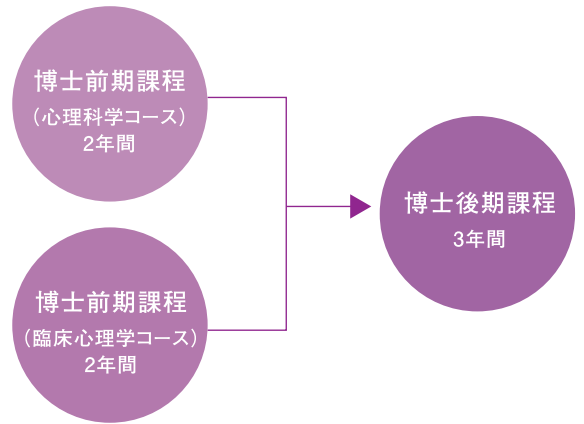
神奈川県庁 / (株)星野リゾート / 東京都世田谷区役所 / 法務省東京少年鑑別所 / (株)ノジマ / セントラルスポーツ(株) / (株)三井住友銀行 / (株)セルリアンタワー東急ホテル / MXモバイル(株) / (社)福都社会福祉事業団 / 日本出版販売(株) / イオンリテール(株) / (株)みずほフィナンシャルグループ / 警視庁 / 日本生命保険(相) / いなば食品(株) / (社)福都福祉楽団 / 埼玉県教育委員会 / Apple Japan 合同会社 / P&Gプレステージ合同会社 / 防衛省陸上自衛隊 / (株)みずほ銀行 / (株)エイチ・アイ・エス / 大和ハウス工業(株) / 日本調剤株式会社 / 人事院 / 厚生労働省 / (株)オリエントコーポレーション / NTTデータ・システム技術(株) / 国税庁東京国税局 / (株)イトーキ / 東京都庁 / (株)トンボ鉛筆 / (株)ファンケル / Sky / 伊藤忠テクノソリューションズ(株) / (株)ユナイテッドアローズ / (株)良品計画



大学院

日本大学大学院文学研究科心理学専攻は、博士前期課程(心理科学コース・臨床心理学コース)と博士後期課程で構成されています。国内外の学会発表出張旅費の援助や、教員のサポートをして報酬を得ながら教育経験を積む「ティーチング・アシスタント(TA)制度」、学術雑誌に論文が掲載された場合に奨学金が授与されるなど、大学院生の教育と研究への探究をサポートしています。これまで多くの研究・教育機関に優れた人材を輩出しています。

詳しくは大学院パンフレットをご覧ください。



心理科学コース

心理科学コースでは科学的心理学を实践するために、心理学の専門家としてハイレベルな知識とスキルを身につける3つの柱を置いています。「専門的知識の獲得」では、さまざまな領域で活躍する研究者が多彩な講義科目を開講し、最先端の知識に身近にふれることができます。「研究の実践」では、29室の実験・面接室を設けて充実した実験環境を実現し、教員の指導のもと各領域における最先端の研究が行われています。「研究発表」では、全大学院生と専任教員が参加する大学院研究発表会が、1年を通して複数回開催されます。これを経験することで、研究のまとめ方やプレゼンテーションの方法、また議論の方法を学ぶことができます。

また、2019年度より心理科学コースでは公認心理師プログラムを設置しました。大学等で必要な科目を修めた上で、心理学専攻心理科学コース公認心理師プログラムの科目を修めると公認心理師の受験資格が得られます。

研究テーマ 抜粋

- “面白い”と感じる時の脳活動
- 物語の登場人物の感情の推測過程
- 社会的認知・社会的態度と対人コミュニケーション
- 現実環境に対する認知・評価・意思決定の研究
- 抑うつに関する社会心理学研究
- 遂行行動の動機づけ要因についての生理心理学的検討

臨床心理学コース

臨床心理学コースでは、国家資格である公認心理師の養成を行なっています。さらに、(公財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定のコースとなっています。規定の科目を履修すると、修了後には公認心理師(学部で指定カリキュラムを履修している場合)及び臨床心理士の両方の受験資格を得ることができます。臨床心理学コースが目指しているのは、基礎心理学を土台とした臨床・研究・教育のバランスのとれた臨床心理職の養成です。臨床心理学の学習と研究に加えて、学内の実習として心理臨床センターにおける臨床心理学的な地域援助に関わったり、あるいは、学外の実習として大学病院精神科などにおいて医療現場での実習を体験するなど、より実践的な学びから大学院生の成長を促します。

研究テーマ 抜粋

- 中学生の抑うつ傾向に関する調査
- 青年期のAD/HD傾向と自尊心との関連
- 予備校生のテスト不安と抑うつ
- 大学生の親子間コミュニケーションについて
- 知的障がい者の対人場面における他者認知に関する研究

(公財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定校

Student's Message



文学研究科 心理学専攻
博士前期課程
石井 泰穂さん

“ 様々な分野を専門としている先生方に相談でき、
自分がやりたいことにチャレンジできる場であると感じています ”

私は日本大学心理学科を卒業し、内部選考という受験方法で同じキャンパス内にある日本大学大学院文学研究科心理学専攻に進学しました。心理学といっても分野や研究方法は多岐にわたります。自分の選択肢を狭めないためにも、様々な分野を専門としている先生が所属されている日本大学大学院の心理学専攻を選びました。学部生時代は生理心理学を専門とする先生のゼミに所属していましたが、大学院では臨床心理学を専門とするゼミに所属しつつ、修士論文では実験心理学的な方法も用いて研究をしています。たくさんの先生方に相談し、協力していただきながら、修士論文ではオンライン実験を実施することにもチャレンジできました。さらに、公認心理師等に関わる心理支援の現場実習では、医療機関から福祉施設、教育機関など多くの実習先で経験を積むことが魅力だと感じています。自分の興味のあることについて研究をしながら、研究以外でも色々な経験を積むことができ、充実した毎日を送っています。将来は心身の不調に悩む人への支援や、そのような臨床現場で行われているカウンセリングの効果研究などを行うことができればと考えています。

教員紹介

2026年4月現在

畦地 良平 准教授



身の回りの様々な出来事を
心理学的に捉えるとはどういうことか、
探ってみませんか？

専門分野

臨床心理学の中でも、高齢者分野や精神科領域を専門としています。医療と福祉に跨り、疾病や障害を持った方、ケアを提供する方の心理支援やそれに関する研究に興味を持っています。

キーワード

臨床心理学、老年期、バーンアウト、ポジティブメンタルヘルス、レジリエンス、メタ認知、リカバリー

岡 隆 教授



正解というもののない心の問題について、
日常に深くかかわりながら
一緒に考えていきましょう。

専門分野

私たちが、自分自身や他者、集団や社会、社会的事象などを、どのように知覚し理解し判断しているのかという社会的認知の問題を検討するために実験や調査を実施しています。

キーワード

社会心理学、対人知覚、自己知覚、社会的認知、ステレオタイプ、偏見、差別、対人態度、対人関係、集団関係

岡田 和久 教授



心理学を学びたいあなた！
でも、そもそも「心」って何だ？
さあ、楽しい4年間の始まりです！

専門分野

臨床心理学。その中でも「プリーセラピー」という、結構面白い分野を専門としています。心理支援における効果的なコミュニケーションの仕方に関心を持っています。

キーワード

臨床心理学、カウンセリング、心理検査、プリーセラピー、システムズアプローチ、社会構成主義、質的研究

狩野 武道 助教



心理学を学んで、
自分自身の成長に
ぜひ役立ててください。

専門分野

臨床心理学。臨床実践は教育領域が中心で、学校不適応、不登校、発達障害、子育て支援等が専門です。研究としては、大学生の無気力について研究を行っています。

キーワード

臨床心理学、教育臨床、学校不適応、子育て支援、無気力、スチューデント・アパシー、抑うつ

菊島 勝也 教授



授業に加えて、仲間とのディスカッションや
ボランティア活動で、
心理学を実感してください。

専門分野

学校現場の中で、臨床心理学を活かして子どもたちをどう支援するか。臨床心理学的な子育て支援グループ活動の実践と、その効果の研究。

キーワード

児童青年期、スクールカウンセリング、発達障害、事例研究、ロールプレイング、ボランティア活動

河野 千佳 准教授



どんなところに行っても、居ても、
日常生活のありとあらゆる場面で
心理学のフィールドです。

専門分野

臨床心理学。現在は妊産婦への心理的アプローチについて助産師の方々と一緒に研究し、他職種との連携・協働の中で心理学をどう役立てられるかについても研究しています。

キーワード

臨床心理学、カウンセリング、心理検査、心身症、慢性疾患、対見感情、母性心理学

近藤 孝司 教授



心理学は日常のあらゆる場面と関連します。
いろんなことに積極的に
取り組んでいきましょう！

専門分野

臨床心理学が専門です。心理検査の研究のほか、対人援助専門職の職業的発達のプロセスやメンタルヘルスマネジメントに関する研究を行っています。

キーワード

臨床心理学、心理検査、パーソナリティ、自己愛、働く人のメンタルヘルス、教育相談、援助要請

齋藤 慶典 准教授



少しでも興味を持ったことには
まず挑戦してみる、という積極的姿勢で
学んで欲しいと思います。

専門分野

心と身体の関連について検討する分野である生理心理学・精神生理学が専門です。達成動機やストレスなどの心理的現象が生理的活動に与える影響について興味を持っています。

キーワード

心と身体、生理指標の可能性と限界、生理的活動の記録・分析、脳波、心拍数、血圧、皮膚電気活動

坂本 真士 教授



心理学は奥が深い学問です。
勉強すればするほど、
謎が深まって楽しいですよ。

専門分野

社会環境や他者が個人の適応にどのような影響を及ぼすかを調べ、不適応予防の活動をしています。分野でいうと、社会心理学と臨床心理学がクロスするところです。

キーワード

社会心理学、臨床心理学、抑うつ、自殺、不適応、予防、社会的認知、研究プロジェクト

田中 崇恵 准教授



いろんな人、もの、場所との出会いを
体験してください。
一緒に心理学を深めていきましょう！

専門分野

臨床心理学の中でも深層心理学をベースとした心理療法を専門にしています。心理療法における変容の契機やこころの多層性に興味を持って研究しています。

キーワード

臨床心理学、深層心理学、ユング心理学、表現療法、プレイセラピー、オンラインカウンセリング、青年期の心理的特徴

津川 律子 特任教授



臨床心理学の知識は、専門職に
役立つだけでなく、日常生活にも役立ちます。
一緒に学びましょう！

専門分野

臨床心理学、精神保健学。現役の心理カウンセラーとして、幅広い対象の方々への心理臨床実践を生業としています。その中でも、広義の抑うつや心理検査が得意分野です。

キーワード

うつ、不安、心理アセスメント、心理検査、心理カウンセリング、心理療法、精神障害、心理臨床

内藤 佳津雄 教授



心理学の知識や技術を着実に学び、
現実社会の問題について
一緒に考えていきましょう。

専門分野

認知心理学：言語の理解とコミュニケーション、他者の考えや感情の推測過程 / 老年学：高齢者の心理的QOL(生活の質)、認知症ケアの人材育成、介護保険制度論など

キーワード

他者の感情の理解のプロセス、友人関係の認知構造、ひらめきの心理学的研究、認知症に関する知識と態度

羽生 和紀 教授



心理学の学びをつうじて、考える力と
表現する力をきたえていきましょう。
本も読みましょうね。

専門分野

環境心理学。環境のデザインに対する心理的反応・評価や、それらが人の意思決定に与える影響などをともに研究してきました。防犯設計や犯罪者の空間行動も研究しています。

キーワード

インテリア・ファサード、色彩計画、照明デザイン、バリアフリー、地理的プロファイリング、防犯設計

松浦 隆信 教授



臨床実践で得た知見を「言葉」にするには
心理学研究が欠かせません。
臨床と研究は車の両輪です。

専門分野

森田療法を用いた高不安者、発達障害など様々な対象への臨床実践の方法論および森田療法で用いられる介入技法の治療的根拠に関する実証研究に取り組んでいます。

キーワード

臨床心理学、森田療法、不安、抑うつ、発達障害、医療臨床、産業メンタルヘルス

望月 正哉 教授



日常で当たり前だと思っていることも、
実は複雑な背景がある。
心理学でそれを明らかにしていきましょう。

専門分野

認知心理学・教育心理学。小説や教科書の説明、日常の会話を理解するときに、頭の中ではどのようなイメージが起こっているのかを研究しています。

キーワード

認知心理学、言語理解、身体性認知、視点取得、対人コミュニケーション

依田 麻子 特任教授



心理学は勉強するほど、これまで見えなかった
いろいろなものが見えてきます。
発見は喜びです。

専門分野

生理心理学、健康心理。「からだ」と「こころ」は密接な関係にあります。主にストレスをテーマに、実験、調査などを用いて多面的にアプローチをしています。

キーワード

生理心理学、健康心理学、新しい生理心理学的測定法、ストレス、睡眠、生活リズム、情動、生理反応

学費

■2026年度入学生の初年度納入金・前期分(入学手続時)

入学金	授業料	実験実習料	施設設備資金	後援会費	校友会費(準会員)	計
260,000	415,000	35,000	110,000	15,000	10,000	845,000

■2026年度入学生の初年度納入金・後期分(9月)

授業料	実験実習料	施設設備資金	後援会費	校友会費(準会員)	計	年度合計
415,000	35,000	110,000	15,000	-	575,000	1,420,000

■公認心理師コース履修費(公認心理師コース履修者のみ)

2年次	3年次	4年次
48,000	54,000	72,000(含 外部実習費)

※公認心理師コースの科目は、卒業に必要な単位に含まれておらず(心理演習Bを除く)、受講には学費とは別途のコース履修費の納入が必要です(コース履修決定後に徴収)。

奨学金

日本大学では、学生の勉学意欲に応えるための支援制度として、さまざまな奨学金制度を設けています。そのほとんどが返済の必要がない「給付制」を採っており、多くの学生がこの制度を利用して勉学に励んでいます。

[文理学部の奨学金制度]

奨学制度名	対 象	金 額	種 別	募集時期	担 当
文理学部奨学金(第1種)	学業・人物が優秀な者(2年次以上)	学 部 生 24万円 大学院生 40万円	給付	5月	学生課
文理学部奨学金(第2種)	外国人留学生で学業・人物が優秀な者(2年次以上)	学 部 生 24万円 大学院生 40万円	給付	5月	学生課
日本大学創立130周年記念奨学生	経済的理由により学費等の支弁が困難な者	学 部 生 30万円	給付	5月	学生課
後援会奨学金	経済的事由により学費等の支弁が困難な者	学 部 生 24万円 大学院生 24万円	給付	9月	学生課
校友会奨学金	経済的事由により学費等の支弁が困難な者	学 部 生 24万円 大学院生 24万円	給付	9月	学生課

※2025年度実績 募集時期が変更になる場合があります。

上記以外の日本大学、文理学部の奨学金制度:●古田奨学金 ●外国人留学生奨学金 ●特待生制度



入試情報

(予定)

※日程はすべて予定となります。確定した日程やその他詳細は日本大学文理学部ホームページにアップされますので、そちらを必ずご確認ください。

■一般入試〈N方式〉

試験期日: 1期 2027年2月1日(月) 2期 2027年3月4日(木)

合格発表: 1期 2027年2月12日(金) 2期 2027年3月12日(金)

■一般入試〈A方式〉

試験期日: 2027年2月3日(水) 合格発表: 2027年2月12日(金)

■一般入試〈C方式〉 大学入学共通テストを利用した試験

試験期日: 2027年1月16日(土)、17日(日)

合格発表: 1期 2027年2月12日(金)

OPEN CAMPUS 2026

■夏季オープンキャンパス

(予定) **7/12** [日]

■秋季オープンキャンパス

(予定) **9/20** [日]

※確定した日程や開催形式、開始時間等、詳細は日本大学文理学部ホームページにアップされる予定ですので、適宜ご確認ください。

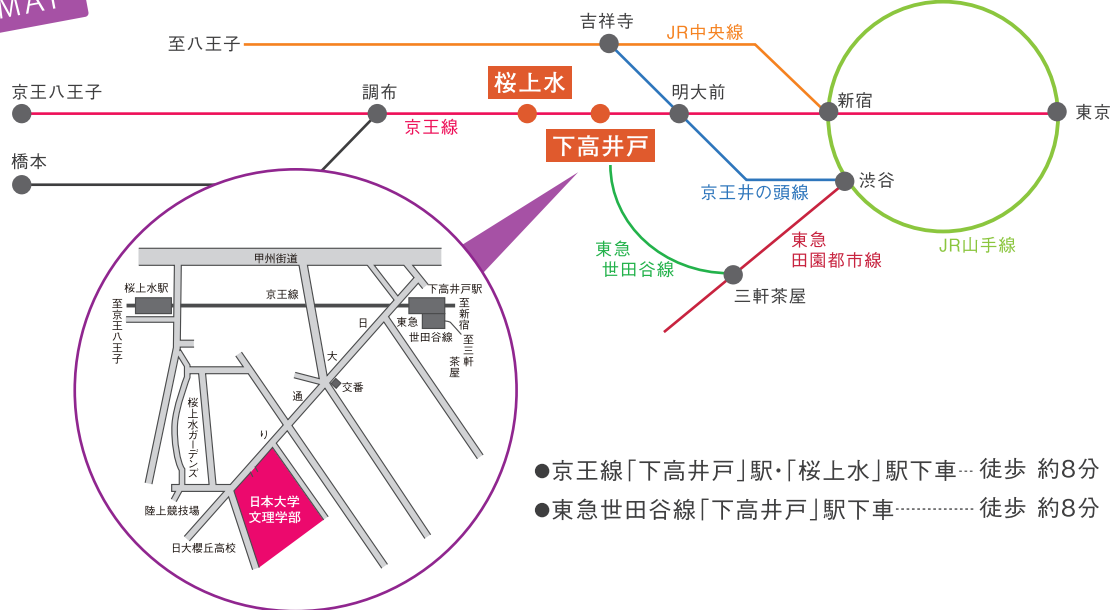
日本大学心理学会ワークショップ

一般公開!

社会で生きる
心理学を
実感できます!

日本大学心理学会は、日大心理のOB、教員、研究員、大学院生、学部生を主な会員とし、ワークショップや研究発表の開催、学術雑誌や会報を発行して、研究活動や交流を支援しています。日本大学心理学会が企画するワークショップは、一般公開され誰でも参加できます。例年、卒業生をはじめ各方面で活躍する講師を迎え、社会の中で、心理学の知識が広く活かされていることを知ることができます。(ワークショップのスケジュールは決まり次第ホームページでご案内しています。)

ACCESS MAP



2017年 日本大学文理学部新本館完成

心理学科は、事務室・研究室・実験室などを新本館に移転しました。最新の設備で学生のキャンパスライフと学習をバックアップします。



日本大学文理学部 心理学科

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部内
TEL.03-5317-9720 <https://dept.chs.nihon-u.ac.jp/psychology/>

